

①「第2次寒川 学びプラン」令和6年度事業報告に係る意見

資料No.2-2

<寒川町社会教育委員による意見>

事業の目標数値について	令和3年～6年度の目標数値を決めた時の実績値が不明なので、目標数値が正しいのか疑問があります。(全てでは無いと思いますが)令和6年度評価も見て、Aだから良くやっているとは思いません。
事業番号 6	<p>「母子健康教育事業」</p> <p>子育て支援について、昼間1人で初めての子育てをするママは不安がいっぱいです。子どもがぐずってどうするか、すぐに相談できない人、今ではオンラインが普及して、親子の顔も見ながら保健師さんが対応してくれるが、それもできない、使えないママもいるかと思います。また、雨が降って健診の時に車が無く行かれないママも居るかと思います。いつも健康管理センターの前にはベビーカーがいっぱいあり、晴天の時はいいなと思います。</p>
事業番号 10	<p>「子どもの読書活動推進に関する事業」</p> <p>ジュニア司書講座は、未来の町づくりの基になる人づくりとして、とても良い講座と思いますが、参加者が少ないのが残念です。学校にもっと働きかけはできないのでしょうか。また受講してくれた子のその後の活躍の場が提供できたら、さらにつながりができると思います。</p>
事業番号 12	<p>「青少年育成事業」</p> <p>ジュニアリーダーズクラブにおいても、人材確保が難しいようですね。人材育成にとっても良い事業ですので、もっと発展させてほしいです。</p>
事業番号 46	<p>「公民館まつり等の開催」</p> <p>サークル等に入り、作り上げた作品等を公民館まつりの時に皆で披露する事は素晴らしい事だと思います。仲間同士の交流ができ、活動も楽しくなり良いと思います。</p>
事業番号 58	<p>「国際交流団体の育成・活動促進」</p> <p>国際交流協会が解散して国際交流に携わる担い手がいなくなり、町民として残念に思います。団体にすべてを委ねていたところを感じられます。これだけ外国の方が増えてきた状況を町としても捉えて対策をとる必要があると思います。</p> <hr/> <p>課題をどのように実行に移すか早急に対応しないとイケない。</p>
事業番号 61	<p>「自主防災組織の育成・活動促進」</p> <p>防災対策の普及啓発が各自治会、地域で行われています。毎年何かと災害があり、とても不安を感じます。家族での話し合い、食料、身の回りのまとめも見直す良い機会だと思います。</p>

②第2次プラン実施計画期間(4年間)の実績及び担当課評価に係る意見

<寒川町社会教育委員による意見>

<p>計画の進行管理について</p>	<p>「第2次寒川 学びプラン」は事業数が多すぎるので、管理ができずに放置のような形になってしまう懸念がある。生涯学習課以外の事業も入っており、事業を精選してしっかり管理できるような体制で計画を作っていくべきである。マンパワーも限られており、また他課が管理している事業は町全体の総合計画と複雑に絡んでいる場合もあり、コントロールが難しい部分もある。今後は精選して、質を高めていくことが重要で、細かいところにも目が行き届くことが大事である。</p> <p>実施計画した項目で、評価が低かった項目が次のプランで消滅することがある。本来はそういう項目こそ次のプランへ入れるべき。評価Aがとれる項目だけを計画にするのは問題だと思います。</p>
<p>目標達成度の評価について</p>	<p>基本目標の2「活かす」、3「つながる」の事業達成率が著しく低い。最上位にある[基本目標]を、最下位である[事業]で達成できたのか? 「できなかった」で終わらせず、しっかり目標達成へのプロセス検証をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画事は上位から下位への整合性確認(基本目標→施策の方向→施策→事業) ・評価時は、下位から上位への目標達成度を確かめる。(事業→施策→施策の方向→基本目標) <p>事業実施評価の「C:達成できなかった」が全体の21.5%を占めている。[施策の方向]別では、とくに以下の3点が課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1「学ぶ」4 学習環境の充実(15事業)…目標達成度がCの事業率33.3% ・2「活かす」1 学習成果を発表する機会の充実(2事業)…目標達成度がCの事業率50.0% ・3「つながる」2 まちづくりにつながる活動の支援(10事業)…目標達成度がCの事業率40.0% <p>未達成事業へのアクションを検討する必要がある、これらについては、アプローチ方法や目標設定、判定基準などの整合性を含めた再構築を求めたい。</p> <p>講演会などは、予算の関係から回数を増やす事が難しいと思います。例えば、目標値3回、実績3回で令和6年度評価がAで良かったということはおかしい。</p> <p>目標値に回数と参加人数を加えるべきだと思います。参加人数が少ない時は、なぜ少ないかを考え、改善していくことが仕事だと思います。</p>
<p>事業について</p>	<p>No.5「子育て支援センター事業」、No.6「母子健康教育事業」 寒川町で「子供を産んで育ててよかった」につながるよう事業を継続してください。子供が増えるイコール人口減少に少しでもあらがうべきです。</p> <p>No.10「子どもの読書活動推進に関する事業」 おはなし会の場所をフロアに代え参加増を目指したようですが、二度ばかり見学しましたが、たまたまかどうか、以前と変わらず少なかったです。年を通して増えていければよいと思うが、読み手ボランティアさん同士の意見交流会や研修会などして向上してほしい。</p> <p>No.12「青少年育成事業」 ジュニアリーダーになるメリットがすごくあることを知らしめる手段、方法を工夫してほしい。学校や地域の協力を得て周知していただきたいです。</p> <p>No.13「ふれあい塾運営事業」 とても良い取組なので続けてほしい。イベントのような物を行う事で参加人数が増えるかもしれません。</p> <p>No.23「交通安全教室の開催」 自転車乗ったらヘルメット。まず大人からお願いいたします。</p> <p>No.58「国際交流団体の育成・活動促進」 これだけ外国の方が増えてきた現状を踏まえ、手を差し伸べる必要があります。日本語教室が安心して学べるように、また教えられるように、専門の部屋を設置したらいかがですか。学ぶばかりでなく、外国の方の居場所としての部屋として使えたらいいですね。教える人はボランティアのようですが、活動できる居場所を町で提供してほしいです。居場所を作ることによって、上達も望めるし、国際交流協会も自然発生的に再び蘇るのではないのでしょうか。</p>